

教科	音楽	単元名	音楽で心をつなげよう
----	----	-----	------------

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

B-STEP 2, D-STEP 2
G-STEP 2, H-STEP 2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて考えて、思いや意図に合った表現をする。
- ・協働して音楽活動をする楽しさを感じる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・必要な情報を図書資料等から収集する。
- ・収集した情報の中から、必要な情報を選び取る。

単元における学習の展開 (全6時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○明るく楽しい曲調にのって、友だちと声を合わせて歌う楽しさを味わう。 ・指導者や友だちが打つリズムを模倣する活動を通して、リズムにのって歌う楽しさを感じる。 ○曲に合った歌い方を考え、自分の声と友だちの声を聴きながら声を合わせて歌う。 ・曲想と歌詞の内容との関わりに気付き、どのように表現するかを考え、友だちの歌声や伴奏を意識して歌う。
第2次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○曲を聴き、写真から歌詞の様子を思い浮かべながら歌う。 ○『春の小川』と『茶つみ』の旋律の特徴に気付き、曲に合った歌い方を考える。 ・それぞれの旋律の特徴と曲の感じの違いに気付き、歌い方を工夫する。
第3次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○季節ならではの言葉を見つけ、『春の小川』の旋律に合った歌詞を考える。(本時) (☆) ・図書資料等や「言葉のたからばこ」を参考に、自分なりの春を表現する。 ○考えた歌詞を友だちと交流し、それぞれの春を表現した歌詞のおもしろさを感じる。 ・個人や班の歌を聴き、人それぞれの表現を味わう。

本時のねらい

- ・『春の小川』の旋律に合わせて、自分なりの春を表現することができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 常時活動をする。 ・リズムリレーをして、友だちのリズムにのることを楽しむ。 2. 前時の内容を確認する。 ・『春の小川』を歌う。 ・旋律のリズムや動きを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちが真似しやすいリズムを打つように声掛けをする。 ・作詞をする箇所の歌詞をもとに、イメージをふくらませる。
展開 (30分)	<ol style="list-style-type: none"> 3. 作詞活動を個人、ペアやグループで進める。 ・図書資料等や「言葉のたからばこ」(国語の教科書の巻末にある「言葉の広場」を一枚のシートにまとめたもの)を参考に、歌詞を考える。 ・友だちの意見や歌詞を参考にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律にあった歌詞を作るため、歌いながら考えるように確認する。 ・活動する人数を最大4人までとし、協働作業もできるようにする。
まとめ (10分)	<ol style="list-style-type: none"> 4. 児童が作成した歌詞で歌唱する。 ・色々な表現を聴き、友だちの春の表現の仕方を知る。 ・1人や複数人、全員で歌唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字数によって、リズムが変わることに注意して、歌唱させる。

図書資料

電子書籍 (Yomokka!)
「季節のことば」より
・鳥のさえずりに耳を澄まそう
・春の生きものをさがしてみよう
等



作詞箇所
小さなうばめや かえるもいらよ
やさしい声で ケコケコチユリ
小さなうばめや アゲハもどいよ
小さな体で うつしもよう



図書資料を参考にしながら、春ならではの歌詞を作った。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・図書資料(電子書籍も併用)と「言葉のたからばこ」を活用することで、全員で同じ本を読み、季節ならではのものや様子などを表す言葉を選び、歌詞を考えるヒントにすることができた。
- ・元々の歌詞の内容を確認することで、春の自然をイメージできる言葉を歌詞として考える活動だと明確にすることができた。また、導入でリズムリレーを取り入れることで、模倣することに慣れ親しみ、前向きに友だちの意見を参考にすることができた。
- ・「言葉のたからばこ」は、本授業以外でも歌唱表現の工夫を全員で考えるときや、曲の特徴を言葉(例:初めはなめらかなメロディーだけ、途中から激しくなる)で表現するときなどに使用している。